

長岡京市まちづくり市民会議 活動記録報告

1. まちづくり市民会議の概要

(1) まちづくり市民会議の目的

「長岡京市第3次総合計画 第3期基本計画」（平成23～27年度）の策定作業の一環として、行政の各分野について市民の生の声を聞くことで、市民アンケートだけでは拾いきれない意見やニーズを把握し、長岡京市がこれから特に重点を置くべき取り組みについて考えるため、まちづくり市民会議を開催した。

(2) 開催日時（全3回）

第1回：平成21年12月12日（土） 13:30～16:30 於：市役所大会議室A
第2回：平成22年1月16日（土） 13:30～16:30 於：市役所大会議室A
第3回：平成22年2月6日（土） 13:30～16:30 於：市役所大会議室A

(3) 参加者

計25名

（内訳）

公募市民：12名（「広報ながおかきょう」平成21年11月1日号で募集）

総合計画審議会委員：4名

市職員：9名

2. まちづくり市民会議の活動内容

(1) グループ編成

まちづくり市民会議では、参加者全員を3つのグループに分け、グループごとに意見交換を行った。

第1回・第2回は、総合計画における「章」にあたる6つの分野別に意見交換を行うため、参加者それぞれが興味のある分野に応じてグループを編成した（第1回・第2回はグループを固定）。

各グループにおける意見交換のテーマとなった分野は以下のとおりである。

グループ	第1回	第2回
1	教育・人権・文化	福祉・保健・医療
2	都市基盤	産業
3	行政改革と市民参画	生活環境

第3回は、6分野全体を見渡し市政全体についての意見交換を行うため、第1回・第2回における3つのグループからそれぞれメンバーを集め、新しい3つのグループに再編した。

(2) 全3回の活動内容

① 第1回・第2回（分野別意見交換）

まず、グループごとに、意見交換のテーマとなる分野について、参加者各自が長岡京市の「良いと思う点」と「良くないと思う点」や、それらに関して「必要となる取り組み」を提示し、そう考える理由や背景について意見交換を行った。

次に、意見交換を通じて共有した視点をふまえ、グループ全体として「今後重要となる取り組み」と思われるものを挙げ、その理由や背景をとりまとめて、グループごとに全体発表を行った。

【意見交換の様子】



【発表の様子】



各グループから、今後重要となる取り組みとして挙げたものは、以下のとおりである。

【今後重要となる取り組みとして挙げたもの】

分野	今後重要となる取り組みとして挙げたもの
福祉・保健 ・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・「向こう三軒両隣り」による見守り・支えあいを、まちづくりの方針として掲げる ・中高生の頃から新生児や小さな子どもにふれあう機会を増やし、“親育て”を行う ・充実している福祉・保健・医療についての情報提供とアクセス利便性を向上する ・不足しているサービスや、新たな課題への対応について、情報を共有し、関係者の連携により適切に対応していく
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動や緑化活動への市民参加を促進すること ・水道事業に関する議論を市民に分かりやすく伝えること ・ごみの減量やごみ処理ルールの徹底を図ること
教育・人権 ・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者を取り巻く地域社会(大人たち)が、子どもや保護者・学校との関わり方を変えていく ・リタイア層や若い世代の人たちに地域社会でもっと活躍してもらう ・利用者の視点から、文化・スポーツに親しめる機会や情報提供を充実する ・今ある学校や文化・スポーツ施設をもっと有効に活用する
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを進める際に、方向性を示すこと ・まちづくりの計画や関連する調査結果等を公表すること ・長岡天神駅周辺道路の一方通行化の早期実現
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・「長岡京」のイメージと交通利便性を活かし、住環境とのバランスに配慮した企業誘致を行うこと ・市内の資源を活用し、観光客が市内に滞在する仕掛けをつくること ・消費者ニーズを踏まえた事業者の自助努力による商業活性化に対して支援を行うこと ・担い手の確保や農産物の共同販売の仕組みづくりによる農業活性化
行政改革と 市民参画	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が参加できる環境整備を行うこと ・事業仕分けを含め各種事業の点検の仕組みをうまく連携させて行うこと ・効率的でマイナス情報も含む情報公開を行うこと

※詳細は、別添の「まちづくり市民会議（第1回・第2回）とりまとめ資料」を参照のこと。

② 第3回（全6分野の討議結果をふまえた意見交換）

第3回のグループについては、第1回・第2回におけるグループ1～3のメンバーが分散するように再編し、新しいグループで意見交換を行った。

まず、第1回・第2回で各グループが行った意見交換のまとめ（全6分野）を見渡したうえで、参加者各自が「長岡京市全体として特に重点を置くべき取り組み」を提示し、そう考える理由や背景について意見交換を行った。

提出された意見は、第1回・第2回でまとめられた「今後重要となる取り組みとして挙げたもの」（以下「【今後重要となる取り組み】リスト」）の項目に沿って分類した。また、リストの項目は、意見交換をふまえて、適宜表現の修正や項目の統合等を行った。

次に、「【今後重要となる取り組み】リスト」のなかから、メンバー各自が「長岡京市全体として今後特に重要となる取り組み」と考えるものについて投票（投票権は1人につき3項目まで）を行うことで項目を絞り込み、その理由や背景などについて、グループとしての見解をまとめ、グループごとに全体発表を行った。

【意見交換・発表の様子】



各グループで、長岡京市全体として今後特に重要となる取り組みとして選んだものは、以下のとおりである。

【長岡京市全体として今後特に重要となる取り組みとして選んだもの】

グループ	長岡京市全体として今後特に重要となる取り組みとして選ばれたもの
グループA	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加の仕組みづくり ・議会改革 ・自然環境の保全 ・まちづくりの方向性を示して合意・実行 ・地域での支えあい ・様々な主体の連携による安心して暮らせるまちづくり
グループB	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両どなり～自治会の活性化 ・子育て支援 ・学校教育～次の世代を育てる人づくり ・長岡天神駅周辺のまちづくり ・市民参加～会社から社会へ～
グループC	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な視野に立ち、重点を置いたまちづくりを進めること ・「向こう三軒両隣」による見守り・支えあいをまちづくりの方針として掲げる ・市民が参加できる環境整備を行うこと ・不足しているサービスや、新しい課題への対応について、情報を共有し、関係者の連携により適切に対応していく ・リタイア層や若い世代の人達に地域社会でもっと活躍してもらう

※詳細は、別添の「まちづくり市民会議（第3回）とりまとめ資料」を参照のこと。

3. まとめ

① 長岡京市全体として今後特に重要となる取り組み

「長岡京市全体として今後特に重要となる取り組みとして選んだもの」をみると、**市民参加の環境整備**への関心の高さがうかがえると同時に、地域において、様々な立場・世代の人や様々な主体が、ともに支え合うような仕組みをつくり、**地域コミュニティを活性化**する必要性を感じている参加者が多いことがわかる。

市政全般については、**長期的な視野に立ったまちづくりの方向性**を打ち出し、それを市民と共有したうえで進めていくことの重要性が指摘されている。

より具体的なテーマとしては、**子育て支援**や「人づくり」としての**学校教育の充実**、**自然環境の保全**、**長岡天神駅周辺のまちづくり**、**議会改革**が挙げられている。

② 参加者の感想（参加者へのアンケートから）

まちづくり市民会議での活動に対する感想や意見を把握するため、参加者に対して行ったアンケートでは、アンケート提出者のほぼ全員が、今回の活動に「満足した」あるいは「やや満足した」と回答している。

具体的な感想としては、「同じテーマについても、多様な意見があることを知った」、「市政について熱心に考えている人が多くいることを知った」、「自分が興味のある分野以外の話も聞くことができた」などが、主に挙げられている。

今後については、「活動結果が市政に反映されること」、「まちづくりを進めるにあたって、行政と市民がともに当事者としての意識をもつこと」、「具体的な課題解決の方法論についての議論の場を設定すること」などが求められている。

4. 成果の活用について

まちづくり市民会議における活動の成果については、総合計画審議会における議論の参考資料として提出するほか、計画策定の具体的な作業を進めるにあたっての参考資料として、庁内の各課に提供する。